

補 足 説 明

国際地域学部

教科・科目名（小論文）

問1 図3の下（注）に項目を追加

9枚目のうち第6枚目 下から2行目に下記を追加

「・業務他部門・・・小売業や飲食サービス業などの第三次産業。」

(9 枚のうち第 1 枚目)

令和 7 年度 福井大学 国際地域学部
入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）問題用紙

小 論 文

国際地域学科

注意事項

- 1 この問題用紙は「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図の後、解答を始める前に、解答用紙 7 枚の所定の欄すべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 4 解答用紙にはマス目が入っている。句読点は 1 マス使用するなど原稿用紙の慣用的な書き方に従い、横書きで記入すること。
- 5 解答の下書きには別配布する白紙を使用すること。
- 6 試験終了後、解答用紙 7 枚を回収する。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってもよい。

令和7年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（9枚のうち第2枚目）

（この頁は空白）

（9枚のうち第3枚目）

問 1

次ページ以降の図1、図2、図3、および表1は、日本の気候変動問題に関連したデータである。これらの図表を見て、**設問1**から**設問4**に答えなさい。

なお、一次エネルギー供給とは、石油、天然ガス、石炭、原子力、太陽光、風力等といったエネルギーの元々の形態で、発電・転換部門で生じるロスまで含めた全てのエネルギー量を指す。一方、エネルギーが最終消費者に届くまでには発電や輸送中のロス等が生じるため、一次エネルギー供給からこれらの損失を差し引いたものが最終エネルギー消費（最終的に消費者が使うエネルギー量）となる。

設問 1

図1は、日本の二酸化炭素(CO₂)排出量、実質 GDP(国内総生産)、そして実質 GDP あたりの二酸化炭素(CO₂)排出量の推移(2003～2021年)を示したグラフである。図1から読み取れることを300字以内で答えなさい。

設問 2

図2は、一次エネルギー国内供給の割合の推移(2003～2021年)を示したグラフである。また、表1は、図2中のエネルギーを用いて発電した場合に発生する二酸化炭素排出量をまとめたものである。一次エネルギー国内供給(図2)と二酸化炭素排出量(図1)との関係について、図1、図2、および表1から読み取れることを300字以内で答えなさい。

設問 3

図3は、部門別最終エネルギー消費と実質 GDP の推移(2003年～2021年)を示したグラフである。部門別最終エネルギー消費と実質 GDP との関係、およびそれらのデータと二酸化炭素排出量(図1)との関係について、図1と図3から読み取れることを250字以内で答えなさい。

設問 4

日本は2050年にカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)を実現することを宣言している。今後、日本が二酸化炭素排出量を削減していくための方向性、および課題について、図表(図1、2、3および表1)に示されたデータを基にあなたの考えを200字程度で述べなさい。

（9枚のうち第4枚目）

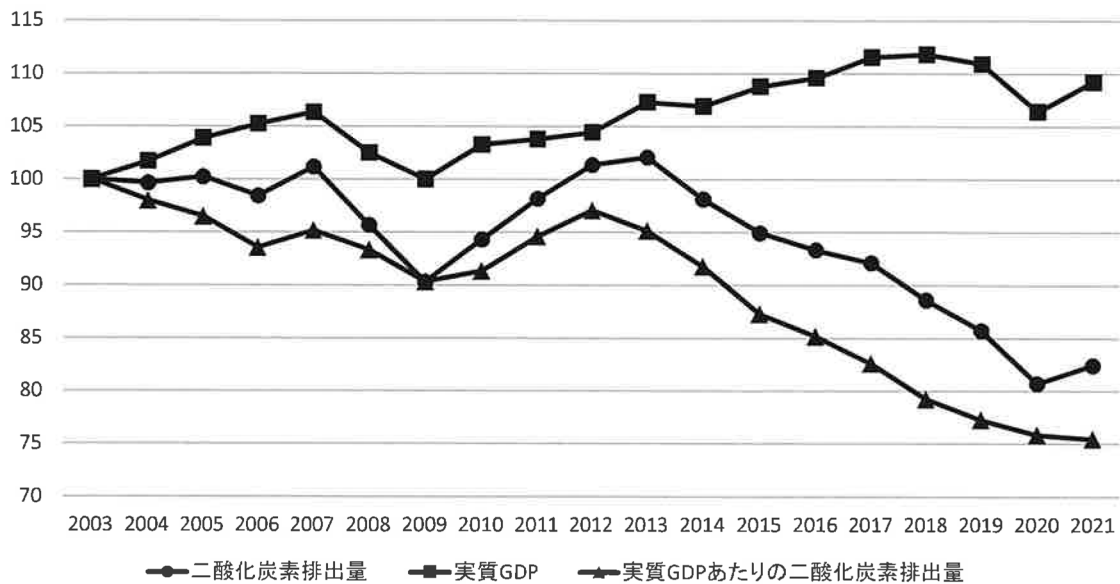


図1 日本の二酸化炭素排出量、実質GDP(国内総生産)、実質GDPあたりの二酸化炭素排出量の推移(2003～2021年)

出所) 国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータ「日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2021年度)(確報値)」をもとに作成。

- 注)
- ・縦軸の値は、2003年の二酸化炭素排出量、実質GDP、そして実質GDPあたりの二酸化炭素排出量をそれぞれ100とする指数で表したものである。
 - ・実質GDPあたりの二酸化炭素排出量は、二酸化炭素排出量を実質GDPで除した値である。

（9枚のうち第5枚目）

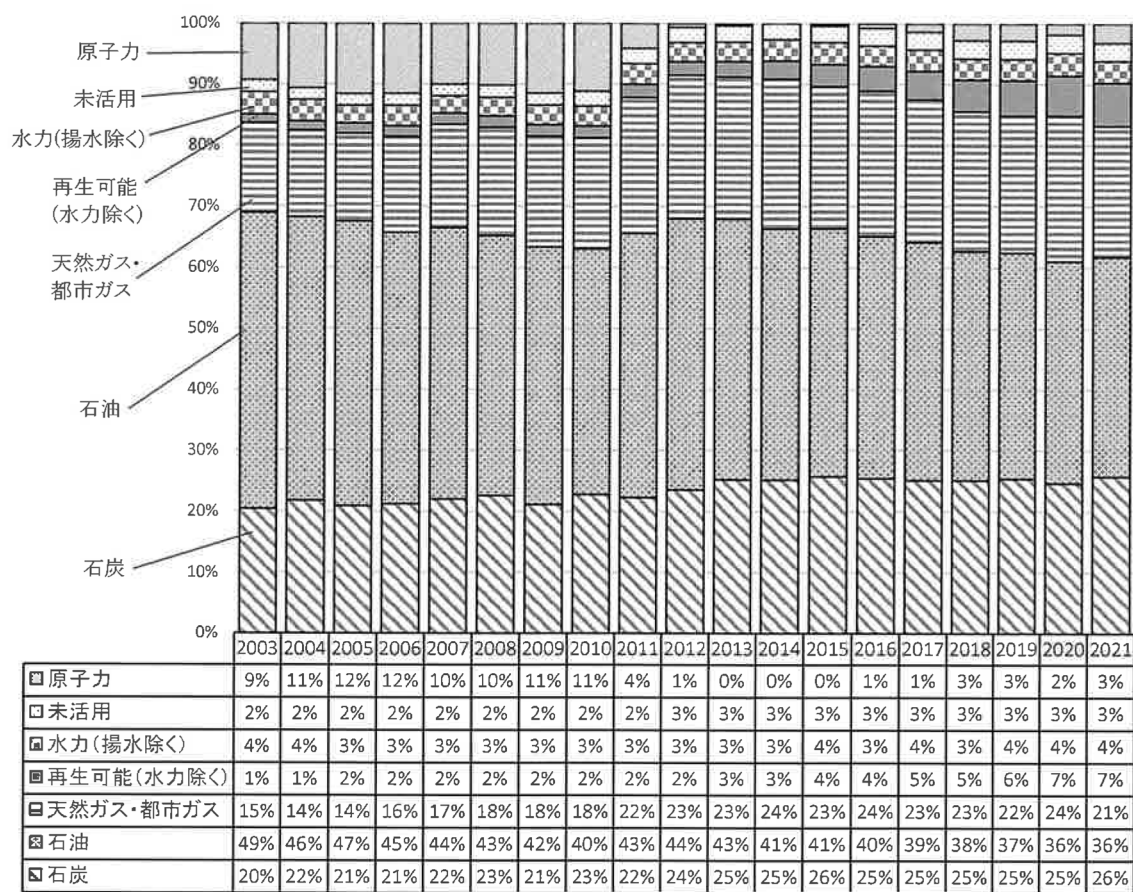


図2 一次エネルギー国内供給の割合の推移(2003～2021年)

出所) 資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」時系列表(参考表、令和5年4月21日公表)より作成。

- 注) ・一次エネルギー国内供給・・・石炭、石炭製品、原油、石油製品、天然ガス、都市ガス、原子力、再生可能エネルギー、未活用エネルギーの国内産出量と輸入量の合計から輸出量を差引き、供給在庫変動量を加減(取崩しは加算。積み増しは減算。)した量であり、エネルギーが最終消費者に届くまでの発電・転換部門で生じるロスまで含めた全てのエネルギー量。
- ・未活用・・・未活用エネルギー。廃棄物エネルギー利用、廃棄エネルギー回収など、エネルギー源が一旦使用された後、通常は廃棄、放散される部分を有効に活用するエネルギー源。
 - ・揚水・・・揚水発電とは、貯水式ダムを2つ(上池、下池という)用い、電力需要が減少する深夜などに電力を使って下池の発電機を逆回転させて下池から上池に水をくみあげておき、電力需要が急速に増加する時間帯や最大電力となる時間帯などに上池の水を下池の発電機に流下させて発電を行う水力発電。
 - ・再生可能・・・再生可能エネルギー。太陽、風力、バイオマスなど自然界に存在する非枯渇性のエネルギー。
 - ・天然ガス・都市ガス・・・都市ガスは主にメタンを主成分とする天然ガスや海外から輸入している液化天然ガスによって構成される。
 - ・構成比の数値は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

（9枚のうち第6枚目）

表1 電源類型別二酸化炭素排出量

電源	二酸化炭素排出量 (g-CO ₂ /kWh)
原子力	0
未活用	0
水力	0
再生可能エネルギー	0
液化天然ガス火力	375.7
石油火力	695.1
石炭火力	863.8

出所) 今村栄一・井内正直・坂東茂, 2016, 日本における発電技術のライフサイクル CO₂排出量総合評価、電力中央研究所、総合報告: Y06 より作成。

注) ・未活用に関しては、総合エネルギー統計（資源エネルギー庁）が原則として炭素排出を計上しないとしていることから、表1でも二酸化炭素排出量をゼロとしている。

・g-CO₂/kWh・・・1kWの電力を1時間使用した場合に発生する二酸化炭素排出量（グラム）。

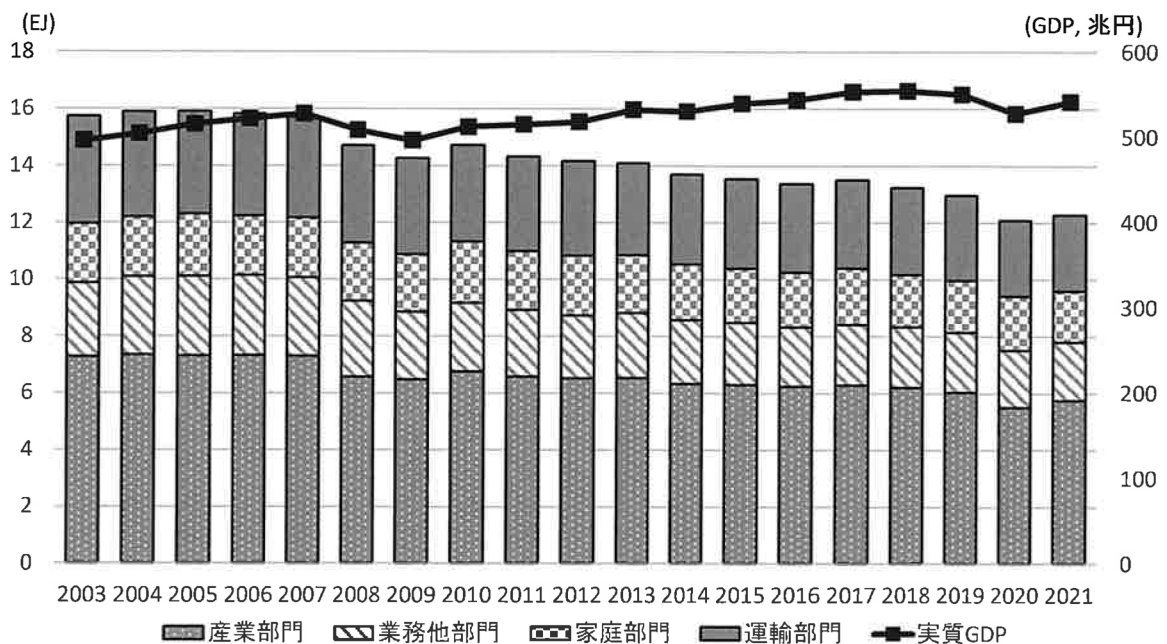


図3 部門別最終エネルギー消費(左軸)と実質GDP(右軸)の推移(2003~2021年)

出所) 資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」時系列表（参考表、令和5年4月21日公表）より作成。

注) ・最終エネルギー消費・・・エネルギーが最終消費者に届くまでには発電や輸送中のロス等が生じるため、一次エネルギー供給からこれらの損失を差し引いたものが最終エネルギー消費（最終的に消費者が使うエネルギー量）となる。

・産業部門のデータは農林水産鉱業建設と製造業の値を合計したもの。

・J(ジュール)・・・エネルギーの大きさを示す単位で、1EJ（エクサジュール）は10¹⁸J。

令和7年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（9枚のうち第7枚目）

問2

次の【資料1】、【資料2】の文章を読み、後の設問1から設問3に答えなさい。

【資料1】

著作権の都合上、この部分は公開しておりません。

令和7年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（9枚のうち第8枚目）

著作権の都合上、この部分は公開していません。

（酒井邦嘉『チョムスキーと言語脳科学』、集英社、2019年による）

【資料2】

著作権の都合上、この部分は公開していません。

（鳥飼玖美子「脱グローバル時代の英語教育に求められるもの」、
西山教行、大木充『グローバル化のなかの異文化間教育』、明石書店、2019年より、一部省略）

令和7年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（9枚のうち第9枚目）

- （注1） チョムスキー——アブラム・ノーム・チョムスキー（1928～）は、「生成文法理論」を提唱して言語学に革命を引き起こした米国の言語学者。
- （注2） 捨象——事物または表象からある要素・側面・性質を抜きだして把握するとき、他の要素・側面・性質を度外視すること。
- （注3） 学習指導要領——学校教育法に基づき国が定める教育課程の基準。小・中・高等学校、特別支援学校を対象に、教育の目標、教育内容、基本的指導事項等が体系的に示されている。

設問1

【資料1】の筆者は、米国の言語学者チョムスキーが唱えた「普遍文法」に触れています。この普遍文法と学校で教わる「文法」では何が違うのでしょうか？ 本文の内容にそくして200字程度で説明しなさい。

設問2

【資料1】には下線部①「ヨーロッパやインドネシア、アフリカなどでは、多言語を話す人たちが珍しくない。」とあるが、それはなぜでしょうか？ 本文の内容をふまえて、400字程度で説明しなさい。

設問3

【資料2】の筆者が重視している「異文化コミュニケーション能力」を獲得するには、日本の学校教育における英語学習でどのような方法を採用するのがよいと考えますか？ あなたの考えを500字程度で述べなさい。

受験番号	
------	--

令和7年度福井大学国際地域学部
入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）解答用紙
（7枚のうち第3枚目）

小論文

 国際地域学科

問1

設問3 解答欄（横書きで記入すること）

100字

200字

受験番号	
------	--

令和7年度福井大学国際地域学部
入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）解答用紙
（7枚のうち第4枚目）

小論文	国際地域学科
-----	--------

問1

設問4 解答欄（横書きで記入すること）

100字

200字

受験番号	
------	--

令和7年度福井大学国際地域学部
入学者選抜学力検査（後期日程 本試験）解答用紙
（7枚のうち第5枚目）

小論文	国際地域学科
-----	--------

問2

設問1 解答欄（横書きで記入すること）

100字

200字

受験番号	
------	--

(7枚のうち第7枚目)

国際地域学科

問 2

設問3 解答欄 (横書きで記入すること)

[illegible]